

# 令和5年度県債発行方針

## 1 基本的な考え方

令和3年度までは、日銀による量的・質的金融緩和（H25～）やマイナス金利政策（H28～）等の導入による超低金利が続く中、良好な起債環境が継続。

一方、令和4年度に入り、欧米の政策金利の引き上げや物価高騰等により、国内金融市場は不安定化。金利の変動性が拡大する中、投資家の慎重姿勢が広がり、起債環境は急速に悪化した。

令和5年度は、臨時財政対策債の発行額の減少により、地方債市場全体の発行総額は減少する見込みであるが、引き続き厳しい起債環境となることが想定される。特に、利上げ幅を縮小する欧米の中央銀行の動向やウクライナ情勢の推移、国内における日銀総裁交代等に伴う金融政策の動向、それらを踏まえた投資家の運用ニーズの変化等に対して、十二分に注意する必要がある。

こうしたことを踏まえて、令和5年度においては、①県債の安定的な消化、②資金調達の弾力化、③競争性の確保、④市場の変化への対応、⑤県債への信頼性の向上の5つの基本方針に基づき、県債を発行する。

## 2 取組の方向性

| 基本方針       | 具体的な取組内容   |
|------------|--|
| 県債の安定的な消化  | ○銀行等引受債の定期発行及び発行額の平準化<br>○銀行等引受債シンジケート団による責任引受機能の継続<br>○銀行等引受債において、地元金融機関による安定的な資金調達体制の継続<br>○戦略的 IR 活動により新規投資家確保を促進し、県債引受基盤を強化・拡大 |
| 資金調達の弾力化   | ○投資家需要を踏まえた発行年限・償還方式の弾力化<br>○グリーンボンドの発行を継続・拡大し、SDGs の取組を推進する本県施策の普及・PR や投資家基盤の拡充を促進<br>○県民債等の発行による県民の投資機会の確保                       |
| 競争性の確保     | ○提案募集・入札による銀行等引受債の発行   |
| 市場の変化への対応  | ○フレックス枠の活用による市場環境や投資家ニーズの変化を捉えた機動的な調達の実施<br>○市場環境の変化に備えた市場公募債の前倒し発行  |
| 県債への信頼性の向上 | ○公募債について、引き続き全年限主幹事方式を採用し、投資家との丁寧な対話による資金調達の実施<br>○投資家に訴求する IR 資料を活用した効果的な IR 活動の継続  |